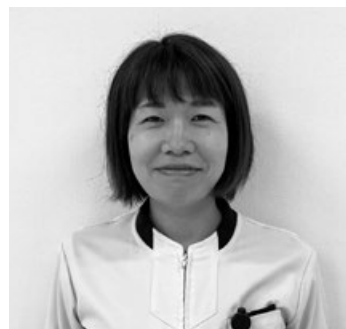




「失語症」について



笠間市立病院 言語聴覚士

やはぎ 矢萩 よしえ 淑恵

先日、アメリカの有名な俳優の方が失語症を患い、俳優業を引退されるというニュースがありました。失語症という障害を初めて聞いたという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

失語症とは、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害や交通事故・転倒などによる脳外傷によって、脳の言語を司る部分が損なわれたために起こる言葉の障害のことを言います。失語症になると「聴くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」に問題が生じます。相手が何を言っているのかわからない・自分が言いたい言葉が言えない・言い間違いが多くなる・文字を音読することができない・文字を読んで理解することができない・文字を書くことができない、などの症状が出現します。突然、言葉がわからない外国で生活をするようになったと想像すると失語症の症状がわかりやすいと思います。人の名前を呼ぶことができない・テレビの内容がわからない・新聞は読めない・買い物に行けない、誰ともコミュニケーションがとれないなどの状況は、精神的にとっても苦しいことだと想像できます。

見た目ではわかりにくいいため、周りの方に理解されにくい障害です。孤独を生みやすく、一人での外出を難しくしたり、職場復帰をしにくくしたり、社会参加を阻む要因になっています。

失語症は、数か月から数年かけて回復していくといわれています。言語療法のリハビリテーションを受けることや、本人の努力、家族など周りの方の支えで回復していきます。失語症の方とのコ

コミュニケーションのポイントは「ゆっくり、短いことばで話す」「表情やジェスチャーを使ってコミュニケーションをとる」「はい・いいえで答えられる質問をする」「相手の伝えたいことを推測しながら話を聞く」「必要な時は絵や図を書いたり、写真を見せたりする」などです。これらの工夫をすることで、よりコミュニケーションが取りやすくなります。

これから一段と寒くなり、脳出血や脳梗塞などの脳血管障害が発症しやすい時期になります。もし失語症のような症状が出現したら、すぐに医療機関を受診してください。皆さんも体調に気を付けてお過ごしください。



問 市立病院 TEL.0296-77-0034



かさま健活スタイル

月ごとの強化項目を取り入れて
自分のところとからだにちょっといい健康づくり

12月の強化項目



予防しよう！「感染症」



風邪やインフルエンザの流行時期です！うがい・手洗いを習慣にして、栄養・休養・睡眠をしっかり取り、感染症を予防しましょう。

問 健康医療政策課 TEL.0296-77-9145